

No. 9

2023年1月

[編集・発行]

上内田地区まちづくり協議会 広報部

広報

# ふれあい 上内田

謹賀新年



令和5年



謹賀新年 (令和4年祭典) ①

新年のご挨拶 ②

二十歳の集いに寄せて ③④

上内田生涯学習センターの活動 ⑤⑥

ふる里再発見 <第9回> 桶田・田島 ⑦⑧

編集後記 ⑨

# 新年のご挨拶

上内田地区まちづくり協議会  
会長 北 浦 充

新年あけましておめでとうございます。

2023年、皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと思います。

上内田地区まちづくり協議会は発足から7年目を迎えます。日頃から事業活動に特段のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症は丸3年経過し、減少傾向にありますが、未だ終息が見通せない状況です。上内田地区においても昨年は、かなりの方が感染されたようです。減少したとは言え、今しばらくは気を緩めないで、メリハリを付けた感染防止対策をお願いいたします。

9月の台風15号では学童保育通路が土砂崩れで一時通行不能となりました。上内田地区には土砂災害特別警戒区域が沢山あります。皆様の近くでも集中豪雨・局地的大雨の際は、前兆現象に注視し、身を守っていただきたいと思います。

一方、地区の大きなイベントである敬老会式典・文化祭・体育祭、そして秋の祭典も3年連続で中止という苦渋の選択をしました。これは区民の安全・安心を最優先に考えての決断であったことをご理解願います。

ただ、このような状況が長く続くことは、区民の繋がりが希薄になり、目指す地区の活性化・発展が遠のく事態が危惧されます。早く平時に戻ることを願っております。

話は変わりますが、兎年は「飛躍」や「向上」の年です。

過去の兎年は時代の終わりや始まりを告げる出来事が多く起こっています。

2023年は今までの数年間から大きく飛躍し、私たちの生活が大きく向上する年になって欲しいものです。

最後になりましたが、迎えた令和5年が皆様にとって素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

今年二十歳の皆さんの  
上内田小学校卒業写真

祝  
おめでとうございませう！  
掛川市二十歳の集い (旧成人式)





卒業記念 平成27年3月 上内田小学校卒業生

## 二十歳の集い(旧成人式)に寄せて

平成26年度上内田小学校卒業生の皆さんへ



永井伸吾 先生

「Change!」を合言葉に取り組んだ6年生、坂道がきつかった観音山のときの5年生、どちらも覚えています。

あれからもう8年がたち、皆さんは20歳を迎え、大学生の人もいれば、すでに会社でバリバリ働いている人もいることでしょう。成人、おめでとうございます。

私にとって初めて持ち上がりで2年間も一緒に過ごした皆さんとの思い出は数多くあります。特に心に残っているのは、6年生を送る会と1年生を迎える会でやった出し物と劇です。前年度の6年生の残した「にこじろう」というキャラクターの劇で、会を盛り上げようとたくさん練習しました。それから、6年生に喜んでもらおうと手作りの色紙(1年生から5年生までのメッセージを貼り付けたもの)を、時間をかけて作ったこと、大変でしたね。

また、サッカーが好きな皆さんは、カタールワールドカップを見て、日本を応援したことでしょう。

先生は運動会でサッカーに関係する曲でやった組体操や、踊った「ヤングマン(Y.M.C.A)」も時々思い出しては、懐かしいなと思っています。まだまだ思い出は尽きませんが、皆さんと過ごした日々は、とてもよい思い出として残っています。

さて、これからの日本の社会を支え、創っていくのは皆さんたちです。上内田、掛川、静岡だけでなく、日本を飛び出して世界でも活躍をしていってくれることを期待しています。なりたいものを見つけて、それに向けて日々努力してってください。応援しています!

- 岡本文瑠 さん
- 狩野将馬 さん
- 狩野秀斗 さん
- 川下健太 さん
- 栗田惟吹 さん
- 栗田佳奈子 さん
- 樽松快斗 さん
- 鈴木奏汰 さん
- 瀬川幹太 さん
- 角皆健人 さん
- 寺田美里 さん
- 平野歩夢 さん
- 平野龍飛 さん
- 堀内基矢 さん
- 松島隆斗 さん
- 松本颯汰 さん
- 向川拓身 さん

平成26年度6年担任 永井伸吾 上村久仁子

## 学習センター運営について

上内田地域生涯学習センターは、平成2年(1990年)に設立されました。早いもので、もう32年が経過します。

学習センターの役割は、地区の皆さんがセンターを利用しやすいように環境を整えるとともに地区体育祭や文化祭などの行事を実施することです。平成28年度(2016年)に、全市一斉各地区に「地区まちづくり協議会」が設立されました。このため現在は、「生涯学習」や「学びの場づくり」、「人づくり」を進めながら地区まちづくり協議会を中心に地区の皆さんと一緒に「協働のまちづくり」を推進することもセンターの重要な役割となっています。



センターから  
2度ツバメが  
巣立ちました

学習センターには、地区の皆さんの世話役としてセンター長、事務長がいます。今年度から事務長を2名体制とし、内1名は女性を登用しました。主に会計を担当していますが、地区でも女性の参画を推進するためです。また、皆さんにセンターをご利用いただくよう毎週、木曜日と土曜日の午前中、センター長、事務長が勤務しています。



月2センターの清掃  
いつもありがとうございます  
ございます

現在、当センターでは、各専門部や地区の団体が様々な活動をしています。「ふれあいいいききサロン」や「趣味の友きりえ」、「パソコンクラブ」、「あざみ会(健康体操)」、「かるやか体操かみうちだ(認知症予防)」などのグループも毎月、定期的に活動しています。

新型コロナウイルス感染症のため、今年度も含め3年間いろんな行事が中止となりましたが、来年度こそ地区体育祭、文化祭などのイベントが実施できることを願っています。

皆さんもお気軽に学習センターに足を運んでください。  
きっと、学ぶことや新しい発見があると思います。

学 習 セ ン タ ー						
文化部	体育部	交通安全部	保健委員会	女性セミナー	研修婦人部	食推協※
文化祭 企画運営	体育祭 企画運営 混合バレー 大会運営	交通安全活動 交通安全 街頭指導	健康増進活動 検診受診活動 保健だより発行 各事業支援協力	女性の地域活動 参画への 推進活動 視察研修 文化祭出展作品作り	文化祭出展作品作り 体育祭文化祭 運営支援 協議会事業 支援協力	食生活改善活動 メンズクッキング 味噌づくり 各事業 支援協力

※食推協はセンター専門部ではありませんが、助成金を受け同等の活動をしています

# 学習センター行事

※コロナ感染予防のため一部行事は中止となりました。



体育祭、文化祭(令和元年)の様子

## ●センター全体

4/12 (火) 運営委員会

4/19 (火) 総会

5/28 (土) 第1回事務局会

6/25 (土) 第2回事務局会

9/10 (土) 第3回事務局会

11/26 (土) 第4回事務局会

2/4 (土) 第5回事務局会

3月中頃 大掃除

## ●交通安全部

4/6 (水) 春の全国交通安全運動  
4/6~15 (金)

7/11 (月) 夏の全国交通安全運動  
7/11~20 (水)

9/21 (水) 秋の全国交通安全運動  
9/21~30 (金)

12/15 (木) 年末の交通安全県民運動  
12/15~31 (土)

交通安全街頭指導



## ●女性セミナー

8/20 (土) 開講式、手芸講習会

11/19 (土) 研修視察

12/18 (日) 料理講習会(食推協とコラボ)

12/11 (日) 健康ウォーキング

手芸講習会



## ●体育部 ※体育祭中止

8/21 (日) 体育部打合せ  
※体育祭中止のため中止

※体育祭中止のため以降の予定中止

## ●文化部 ※文化祭中止

7/9 (土) 文化部3役打合せ

7/24 (日) 文化部全体会合

※文化祭中止のため以降の予定中止

## ●保健委員会

6/28 (火) ヨガ&ピラティス

10/4 (火) 肺がん結核検診・胃がん検診

10/11 (火) 肺がん結核検診・胃がん検診

10/18 (火) 保健委員会活動ポスター作り

12/11 (日) 健康ウォーキング

ガン検診受付



## ●食推協

5/14 (土) 年間計画打合せ会

11/27 (日) メンズクッキング(男女共同参画)

12/18 (日) おもてなし料理  
(女性セミナーとコラボ)

1/15 (日) ふれあい給食

1/29 (日) 味噌作り1/29 (日) ~2/3 (金)

メンズクッキング



## ふる里再発見

## 第9回

## 桶田・田島

## 真言宗 多宝院 永宝寺



上内田の寺院はもともと真言宗の寺院が多く岩井寺は現在も2回の火災にも関わらず現存しています。同じように1区、2区にも真言宗の寺院があったそうです。1区の大滝安雄さんのお宅にはお堂があります。真言宗のお寺であったとのことで、現在も法要がおこなわれています。この真言宗 多宝院 永宝寺は 十代大瀧清山師まで寺子屋を開き、指定の教育を行っていたとのことです。本尊は不動尊、現在も家屋の西にお堂があつて、多宝院では若一王子大権現の大般若経を明治維新になると神仏のお触れにより永宝寺に移し、永宝寺が廃寺になると明治31年10月31日に龍頭院に預けられ、現在も保管されています。昔はこのお堂にお盆のころ小学生男子が集まり、夜間笹竹をもって鐘を叩きながら精霊送りのお祓いをして各家を巡回しました。初盆のお宅の灯籠を預かり、夜間お墓に納めて肝試しの様でしたが、各家からお菓子やお布施を頂いて皆で分け、小遣いにするのが楽しみでした。鐘を叩く槌も太い藤の木を山から採ってきて1区の名大工堀川又市さん（堀川章治さんのおじいさん）に槌を作ってもらい、

槌に水を付けて石を叩き柔らかくして鐘を傷つけないようにして、早くから準備と練習をして行ったものです。

ちなみに近隣の法多山は真言宗のお寺、応声教院は天台宗（現在は浄土宗に改め）のお寺です。平安時代仏教は真言宗・天台宗が多く信仰されていましたが、仏が入滅してから1000年後の1052年には受難の時代が来るという末法思想とともに災害や疫病の広がりも重なって貴族・平民共々恐れおののいていた時代でありました。そして平安仏教（天台宗・真言宗）は廃仏運動やその後の秀吉の高野山焼き討ち等により勢力が衰えていた時代でありました。

そんな中、道元禅師から4代目総持寺の開祖瑩山禅師の継嗣蛾山禅師の流れを汲む恕仲禅師という方が北陸方面より遠州地区へやって来て山内吉岐守の目に留まり、森町の大洞院や袋井市可睡斎をつくり活発な教線を行ったことに起因して、全国的には曹洞宗は20%程の寺院数であるにも関わらず遠州地区では70パーセント以上の曹洞宗の寺院があり、掛川市に至っては80パーセント以上であるということです。（掛川市史より）

## 寶住寺



上内田2区のお寺龍登院、こちら1区の寶住寺もこの流れを汲んでいます。伝えられるところに依るとわが郷土上内田は養老の頃（西暦717年～724年）山城の国（京都府）から佐々木五郎左衛門桶田殿（佐々木行男さんの御先祖）がやってきて、今の上内田地に住居を定めたそうです。それでその辺の田地を桶田海戸と呼び、後には桶田と云うのが地名のおこりとなったということです。

寶住寺はこの佐々木家の先祖が自分の土地にお堂を立てご近所の方たちと力をあわせて2区の龍登院の2世興耕和尚様に来ていただいて、造られたお寺ということです。その年は天正16年（1588年）です。今から四百数十年程前のこととなります。

このお寺の3代目の住職で、明山 印宗 首座の時この近くの村々では、のどの病が大流行していました。村といっても当時の村は10軒もあれば村と言っていた時代です。

このころはお医者様もなく、薬などもない時代で神様や仏さまにおすがりしてお参りする事しか、治す方法が無い時代です。印宗様は仏さまにおすがりして、なおしてやろうと、かたく心に誓い厳しい修行に励み、法力を得てお経を唱えることにより病気を治しました。

今でいうジフテリアという病気だったらしいのですが、この和尚さんのおかげで1段落することが出来たということです。

和尚さんが亡くなる時「私が死んでしまっても、私の力はなくなる。私の力を信じてがんをかけ、お参りすれば必ず私が守る」と遺言をして亡くなりました。

この言葉の通り、これ以後ものどが痛かったり、のどの病気になったりすると、この言葉を信じて、お参りする人が絶えることはありません。

今でも、のどの神様として、近くの人はもちろん、遠くからお参りに来る人が沢山います。

曹洞宗始祖道元禅師はもともと仏教は1つであり道元宗、正法宗と言っていました。曹洞宗とか禅宗とかいう名称は好まなかったものの瑩山禅師の代に中国とのかかわりができその後、中国の洞山禅師と曹鷄禅師の名前から1字取って名前が付けられたということです。(他説もあるようですが)



近年は大災害も多く、疫病に見舞われたり、世界中で紛争が起こったり、積み上げてきた科学や文化も発展的に維持管理できないような状況です。種々活動が制限せざるを得ず様々な弊害を多く受ける昨今、達磨大師の二入四行観に示されるような、正しい規範を持ち温かいコミュニケーションの下、豊かな社会で過ごしたいものです。

#### 祇園神社

佐々木家の祖先は山城の国(今の京都)から来ました。京都と言えば祇園神社スサノオノミコトを祭っています。桶田のお宮で、養老元年(西暦717年)創建です。

#### 熊野神社

田島の組の真ん中にあるお宮です。イザナギ、イザナミノミコトを祭っています。田島のお宮で、寛文10年(西暦1670年)創建です。

### 編集後記

今回は上内田生涯学習センターについて紹介させて頂きました。多くの活動大変ご苦勞様です。又、ふるさと再発見上内田は改めて郷土の歴史に触れる機会も少なく、知らない事も多い事から掲載をはじめ、今回で9区(大谷)から1区(桶田・田島)迄掲載が終了致しました。郷土の歴史は主に図書館郷土資料及び学習センター内の「ふるさと上内田」の冊子を元に掲載させて頂きました。この冊子は1区故鈴木文雄さんの(郷土の歴史を今のうちに残そう)との呼びかけで1区の故佐々木政市さん(佐々木行男さんの祖父)と当時の上内田小学校の大橋昌弘先生が熱心に纏められたものとの記載があります。後世のためによく纏めて頂いたものと感謝いたします。しかし、当然網羅できている訳ではありません。伝承すべき事がありましたら郷土資料充実のためお知らせ頂ければ幸いです。

〈本誌の掲載内容について〉参考文献などによる一説であり、諸説ある場合があります。